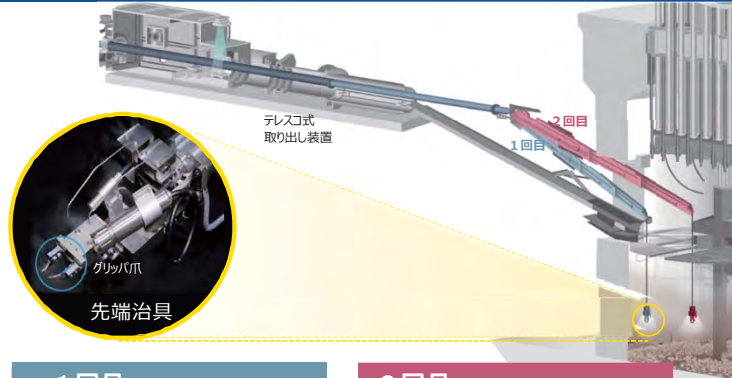


東京電力福島第一原子力発電所 廃炉の取組

2号機からの燃料デブリ試験的取出し



1 回目 (2024年11月7日)



2 回目 (2025年4月22日)



1 回目燃料デブリ取出しの詳細分析結果

構造	細かい空隙を含んだ微細相がサンプル全体に分散しており、比較的容易に破砕できた可能性あり
ウラン濃縮度 (²³⁵ U/U比)	約 1.9%
放射線源	セシウム137が少ないことにより、相対的にユーロビウム154やコバルト60の影響が強くなっている。

少量の燃料デブリ分析から貴重なデータを得られたと考えており、
知見を今後の燃料デブリ取り出しに活用していく。

タンク解体 2025年9月時点



燃料デブリ取出し作業の関連施設を設置予定



ALPS処理水放出 2025年9月時点



労働環境の大幅な改善

